清流

河野節子を育てる会
千葉県香取市小見川１０２５
電話　０４７８(８３)１９２８
発行責任者　和　田　澄　子

ホームページ
https://kohno-setsuko.com/



９月議会で一般質問をする河野議員

過去にない長雨が続き、各地で沢山の被害がでました。皆様いかがお過ごしですか？

この「清流」も今回が最終号となりました。河野節子議員は、三十年という長きに渡り、町民市民の為に働いて下さいました。此の度、議員生活に終止符を打たれる事になりました。ボランティア活動はそれ以前から、青少年の育成に尽力され、ゴミ拾い活動は、今も早朝から実行されています。自分の生活だけで精一杯の私には、別世界の人でした。小さい頃から先輩として面倒を見て下さっていた方でしたが、活動を理解できない時期もありました。そのうち、私の夫が河野さんの活動に賛同し、進んで選挙応援などをするようになり、私も一緒に応援させて戴く事になりました。「育てる会」の前会長さんから引き継ぎ六年になります。間近で市民の為に働く河野さんの姿を見させていただき、楽しくご一緒できた事、心より有難く思っております。

現役は退かれても、やる事が頭一杯つまっている河野さん、市民の為にも、後進の指導にも励んで下さると思います。皆様には、今後共、河野さん、そして続く息子の英則さんをお引き立て下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

長きに渡り「河野節子を育てる会」を応援して戴きありがとうございました。

皆様のご健康をお祈りすると共に最終号「清流」第107号をお届け致します。

和田

令和8年9月議会報告

令和8年8月25日から9月18日までの25日間会期で開かれた9月定例議会には、一般会計補正予算他9件の議案と報告案件10件、そして令和7年度の決算認定11案件が提出され、すべての案件が可決、認定されました。

また最終日に追加案件として副市長の選任に対する議会の同意を求める議案が提出され、千葉県において総務部、健康福祉部、教育庁などを歴任された**古川一也氏（53歳）が10月1日より香取市の副市長として就任されることになりました。**

議案第1号一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれに**6億6825万1千円を追加**し、**総額を406億8841万7千円とするもの**です。

主な歳出内容は

＊ふるさと香取応援寄付事業
―990万（検索連動型の広告でタイミングよく上位にあげるため）

＊交通安全対策施設整備事業
―630万円（主に通学路の交通安全対策）

＊市民協働まちづくり活動事業―2197円（集落支援員2名分、まちづくり協議会の活動支援）

＊物価高騰対策支援事業
介護サービス事業所支援―1160万円、障害福祉サービス事業所支援―530万円、保育施設等支援―670万円、民間保育施設等支援―60万円

＊早期不妊検査費助成金―150万円（県の事業で早期診断費用の一部助成上限3万円。尚、市独自の不妊治療費助成金は、治療費の半額負担で、上限5万円を2回助成）

＊放課後児童クラブ運営補助金―992万3千円

＊放課後児童クラブ施設整備補助金―417万3千円（佐原めぐみ会が1クラス増設の為）

＊観光関連施設管理費―494万4千円（小野川辺りの出し更新）

＊道路維持事業―1億793万2千円

＊道路新設改良事業―4970万円

＊帰国・外国人児童生徒受入れ体制整備事業―314万円（対象人数55名に対し指導員7名）

次期の議会から、電子表決システムを導入

現在議会における表決は、起立に依って賛成の意を表していますが、来期より議員の議席ごとに設置された機器を操作し、議案について可とする場合は賛成のボタンを、否とする場合は反対のボタンを押して表決することができるように、議員発議として議会会議規則を一部改正する案が提出され、全会一致で可決されました。

令和7年度決算

歳入　408億1624万9497円
（前年比4億8892万535円、1.21％増）
歳出　383億8573万9791円
（前年比4億1319万139円、1.09％増）

歳入歳出差引額は24億3050万9706円となり、そのうち翌年度への繰り越した事業の財源、3億6334万708円を差し引いた**実質収支額は、20億6716万8998円の黒字**
尚、黒字額の内10億4000万円は財政調整基金に積み立て。

令和7年度の特徴としては、
＊**歳入**では、**市税収入が前年度より約5億2500万円増加**。その要因は個人市民税の定額減税が無くなったことと、令和６年産の米価上昇による農業所得の増加、物価高騰局面における賃上げによる給与所得の増加によって、**納税義務者も前年より928人増加**したこと。
＊物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金や児童手当負担金などの増額により**国庫支出金が約6億4200万円増額**したこと。

＊**歳出**においても、**物価高騰対応重点支援給付支給事業や児童手当支給事業などにより、総務費で約1億5900万円の増、民生費で約5億5100万円の増**。
＊衛生費では、**水道施設の統廃合に伴う上水道事業やごみ処理施設運営費の増額などにより約4億9800万円の増**。
＊教育費では、小・中学校の児童、生徒が利用するタブレット端末の更新に伴う**コンピューター利用教育費や文化会館設備更新事業の増額で約6億700万円の増**。

＊**市債**については、全会計の合計が、**前年度より約19億7800万円（3.48％）減少し、約548億1900万円**。
尚、そのうち合併特例債は、約138億3000万円、過疎対策事業債は約57億230万円。
＊**基金**については、**前年度末残高より約2億200万円増額し、約185億7900万円**。

長い間「清流」をご愛読くださりありがとうございました。
河野節子議員が今期を以って30年の議員活動に終止符を打ち、世代交代を図ることになりました。
そこで、「河野節子を育てる会」も発展的解消をし、「河野英則を育てる会」として新たにスタートすることになりました。
長年にわたり支えて下さいました市民の皆様に心より感謝申し上げますと同時に、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻のほどを「河野英則を育てる会」に賜りますようよろしくお願い申し上げます。

「河野節子を育てる会」事務局



本会は、河野ひでのりの想いと活動に賛同し、より良い地域づくりをともに支えてくれる仲間を募っています。
河野 ひでのりを育てる会
代表 花垣 貴紀
香取市小見川1025
0478-83-1928
@HI.DE6059

裏面へ続く

河野議員の一般質問

市民の足「カトくる」は十分に市民に活用されていますか？

令和6年10月から実証運行を始めたデマンド交通（カトくる）ですが、交通空白地域を無くすことを目指し、今年度4月からドアtoドアの区域運行の地域が拡大され、津宮、大倉地区や小見川の西、北地区、そして利根川以北にもワゴン車（カトくる）が導入されました。そこで、令和6年度から現在までの利用状況は？

総合政策部長 運行開始から令和8年6月までの利用者数は、区域運行が9818人、ルート運行が1万6051人で、合計延べ2万5869人。1か月の平均利用者数は、令和6年度が1015人、7年度が1267人、8年度6月までで1527人となっている。

利用するには、電話かアプリで予約しなければならないが、高齢者にはアプリはまだわからないという方が多い。利用者として多いのは？

総務政策部長 コールセンターへの予約の内訳は電話が約6割、アプリは約4割です。

使い方がわからないという方が多いが、どのように周知していく予定か？

総合政策部長 広報かとりや市のウェブサイトへの掲載、高齢者クラブなどへの出前講座、小中学校の保護者向け説明会などの他、今年度は新たな地域公共交通ガイドマップを作って自治会を通じて各戸配布し利用促進を図っていきたい。

高齢者のみならず子供も利用できるわけだから、目標とする利用状況は？

総務政策部長 循環バス、乗り合いタクシー、カトくるを合わせた利用者数が、令和7年度の実績で延べ9万1179人なので、令和10年度の目標利用者数を10万5000人に設定している。

4月から拡大した区域運行地域の利用状況は？

総務政策部長 小見川北地区が81人、新島地区が47人、小見川西地区が37人です。

夏休み山田地区で小学生が児童館に行くのにカトくるを利用し、送迎しなくて済んだお母さんたちに喜ばれたという声が寄せられました。部活動の地域移行で父兄の送迎が問題になっている、中学生まで無料にして、全世代が活用して普及できるよう考えてはどうか？

総務政策部長 利用者数の増という点では効果があるかもしれないが、無料化することでカトくる運行や他の交通事業者等の影響も考慮する必要があるので他自治体の事例も参考に検討したい。



成田空港の機能強化に連動して道の駅くりもと周辺の開発計画はどうなっていますか？

成田空港エアポートシティ構想の中で居住拠点として示されている栗源地区が道の駅くりもとを核とした地域活性化、町ぐるみ化を図りたいと地域住民と関係者で検討を重ね、構想案として報告し、令和8年度以降事業化に向けた検討体制の構築及び検討の実施を提言するという提言書が3月に出されているがその後の動きは？

市長 香取市としては、道の駅くりもとを含む栗源地区について、成田空港から15㎞圏内ということからも、今後の各種施策の展開に当たっては中心となる地域と考えているので、この提言をもとに、道の駅くりもととも連携しながら成田空港第2の開港プロジェクトの経済波及効果の受け皿となる施策について検討していきたい。

道の駅をターミナルにして成田空港から直通のシャトルバスを運行することにより、インバウンドの招致はもとより通勤に便利になり移住、定住にもつながるのでは？

市長 成田空港への交通手段の確保は重要な施策と考える。検討においても各種検討が進められているので香取市にふさわしい交通体系を検討したい。

千葉県とNAAが新たに設立した成田エリアデザインセンターが空港を核とした地域公共交通ネットワーク構築に向けた取り組みをしていて、京成電鉄と特別パートナーシップを締結し、地域公共交通ネットワーク実装化に向けて検討を始めているので、もっと力を入れて応募しては？

市長 提言書を作成したグループと共にいろいろな考察を含めて考えていきたい。

道の駅は防災拠点としても認知されている。フェーズフリーの考え方を以って完全循環型のトイレを導入し、平時は市民農園等で利用し、災害時に活用することも提案。道の駅のリニューアルも含め、周辺地域のまちぐるみ化構想は国からの交付金の対象にもなっているのだから、庁内にプロジェクトチームを作ってすぐに行動に移すべきと思うがいかが？

市長 この一連の事業に対するプロジェクトチームは、ある程度足並みや動き、そして進捗状況がまとまったときには必要ではないかと思っているので、これも念頭に置きながら各種進めていきたい。

各課にまたがっている重要課題はプロジェクトチームを作って対応することで動きが早くなると思うので、（この機を逃さないよう）強く要望したい。



香取市が任用する支援員は足りていますか？

近年幼児や小学生のころから多動、発達障害ADHDや自閉スペクトラム症などの特性を持つ子供たちが増えていると聞きます。そして小中学校においては、そのような子供たちについて保護者の合意の下特別支援学級に通って、その子に合わせた指導が行われているとのことですがその現状を伺いたい。

教育次長 香取市内の小中学校では、知的障害、自閉症、情緒障害、難聴、肢体不自由それぞれの特別支援学級を合わせて小学校では15校で36学級、117名の児童が、中学校では7校で18学級69名の生徒が在籍している。

支援級に入る場合の規準は？

教育次長 支援学級の担任等を中心とした調査員、専門的知識を有するもの等の意見を伺いながら最終的には専門家が構成する支援委員会の中で決定する。

支援員の数と仕事は？

教育次長 令和8年度は50名任用。仕事は学校で障害のある子どもが安心して学べるように担任教師の補助として学習面や生活面をサポート。



河野議員の活動報告

R8年7月14日　水越正彦先生の講演会「小見川の自然」（於、中央小）
16日　成田空港周辺市町議会連絡協議会
23日　ライドシェア勉強会
25日　独り暮らし高齢者の集い
8月2日　花火大会後の堤防清掃
8日　中央地区まちづくり協議会
市民参加カフェ
9日　桜プロジェクト暑気払い
14日　まちづくり協議会盆踊り大会準備
18日　議会運営委員会
21日　香取郡市町議員研修会
22日　あどふぇすatコンパス
栗源夏まつり
23日　中央地区まちづくり協議会主催盆踊り大会
24日　全国自治体議員行財政自主研究会（於、オリンピックセンター）
25日（～9月18日）9月定例議会
本会議
議会広報特別委員会
27日　ライドシェア勉強会
9月1日　小池まさあき代議士の国政報告会
2日（～4日）本会議（一般質問）
7日（～9日）決算審査特別委員会
10日　総務政策常任委員会
12日　中央地区まちづくり協議会
ふくしアンサンブルフェスタ
13日　桜プロジェクトでアジサイの手入れ
18日　議会本会議最終日
行政懇談会
25日　中央地区社協独り暮らし高齢者の集い市外レク
10月1日　ライドシェア勉強会
3日　中央地区まち協主催スポーツ吹き矢大会
4日　ボランティア清掃
6日（～8日）会派視察
大牟田市議会
熊本県荒尾市図書館
柳川観光施設
9日　地区社協役員会
10日　中央地区まちづくり協議会
11日　桜プロジェクト下草刈り
17日　中央地区社協独り暮らし高齢者の集い
18日　ボランティア清掃

